

## 新文化会館整備検討状況

令和4年度までは財務部資産経営課が事務局として検討を行ってきたが、早急な施設整備を目指し、令和5年4月より文化会館整備に特化した部署が教育委員会事務局生涯学習課に新設され、現在教育委員会と財務部の協力のもと検討を行っている。

(検討内容の経緯や位置図等、広報にっこう8月号に掲載しました) ※裏面参照

## &lt;整備検討の概要&gt;

## 1 現在検討を行っていること (基本方針)

- 候補地の選定
  - ・平ヶ崎 (今市文化会館解体後跡地)
  - ・七里地内市有地
    - それぞれの候補地におけるメリット・デメリットに加えて、市の活性化につながるまちづくりの視点などを踏まえて検討
- 複合機能の選定
  - ・市民交流機能 (子育て支援機能)
  - ・文化振興機能 (世界遺産ガイダンス機能)
    - 候補地ごとに適した複合機能を採択
- 基本理念 (コンセプト) の設定
  - ・文化施設としての役割を踏まえた視点
  - ・複合機能を踏まえた視点
    - 上記視点を踏まえて新文化会館にふさわしいコンセプトを設定

## 2 基本方針が定まった後に検討すること

- 基本構想の策定
  - 基本方針に沿った新文化会館の全体像を具体的にイメージ
- 民間活力導入可能性の調査
  - 概算事業費の算出及びPFI等民間活力を用いた事業手法の可否を判断
- 基本設計、実施設計
  - 基本構想と事業手法を踏まえた設計

### ■ 新文化会館建設へ向けて検討を進めていきます

市は、市内3つの文化会館などの再編(集約)について、各施設の老朽度や耐震性を考慮し、1館に集約することを前提に検討してきました。

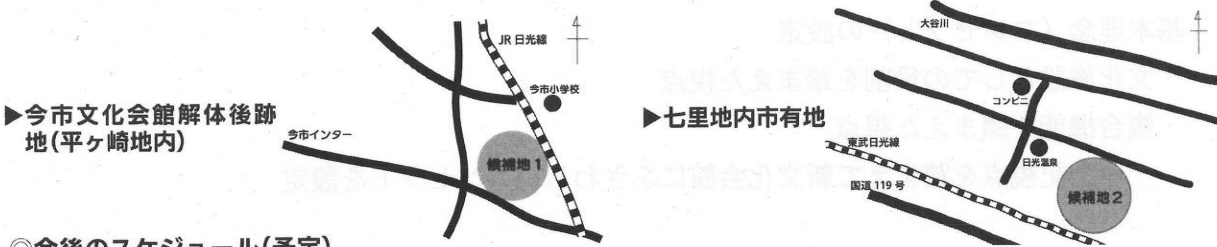
現在、日光総合会館は廃止、藤原総合文化会館は休止とし、当面の間、今市文化会館を使用することとしています。しかし、今市文化会館は築47年が経過し、建物・設備の老朽化が進んでいるため、日常点検の回数を増やしたり、音響・照明設備は予備機を用意したりするなど、安全性を確保しながら安定的な運営に努めています。施設利用にあたっては、安全管理上、一部立ち入りを制限している場所(外壁部分)などもありますので、ご協力をお願いします。



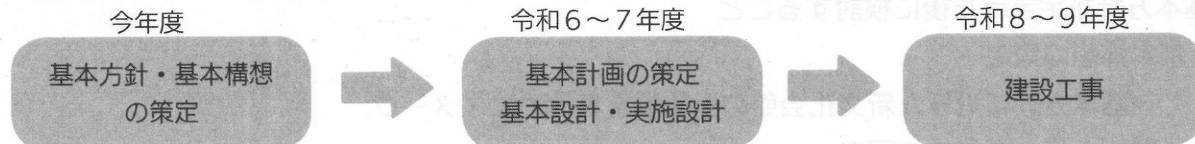
検討を進めるにあたっては、自治会や関係団体等で構成する「日光市文化会館等あり方検討市民委員会」で協議するとともに、市議会の「公共施設等あり方検討調査特別委員会」において合意形成が図られたことから、新たな拠点となる新文化会館を建設することとなりました。

今後は、下記の内容を基本に検討を重ね、建設地や付帯機能を決定したうえで、新文化会館の整備を進めていきます。

- 建設地の候補**…今市文化会館解体後跡地、七里地内市有地のいずれか
- ※候補地は、3つの文化会館等解体後跡地、および未利用市有地の中から選定
- 付帯機能の候補**…市民交流機能、文化振興機能
- ホール座席数**…800席程度



#### ◎今後のスケジュール(予定)



問…生涯学習課 ☎21-5182